

明治安田米国 レベニュー債オープン (為替ヘッジなし) 愛称:エッセンシャルボンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	無期限(2023年9月29日設定)	
運用方針	投資信託証券を通じて、主として米国の州・地方政府や公共機関が公共施設の管理や運営等を目的に発行する債券(「以下、レベニュー債」といいます。)に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	明治安田米国レベニュー債オープン(為替ヘッジなし)	「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」および「明治安田マネーブル・マザーファンド」を主要投資対象とします。
	アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	明治安田マネーブル・マザーファンド	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
組入制限	株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。	
分配方針	年2回(1月、7月の各25日。休業日の場合は翌営業日。)決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②収益分配金額は、信託財産の成長に資することを目的に、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書(全体版)

第1期

(決算日 2024年7月25日)

受益者のみなさまへ

平素は「明治安田米国レベニュー債オープン(為替ヘッジなし)」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号

ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉

サポートデスク 0120-565787

(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比	券 率	投 証 組 入 比	資 信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分 配	達 金 騰 落					
(設定日)	円	円	%	%	%	%	%	百万円
2023年9月29日	10,000	—	—	—	—	—	—	2,988
1期(2024年7月25日)	10,944	300	12.4	0.2		97.8		3,554

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注4) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

(注5) 当ファンドは、投資信託証券を通じて、主として米国のレベニュー債に投資します。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

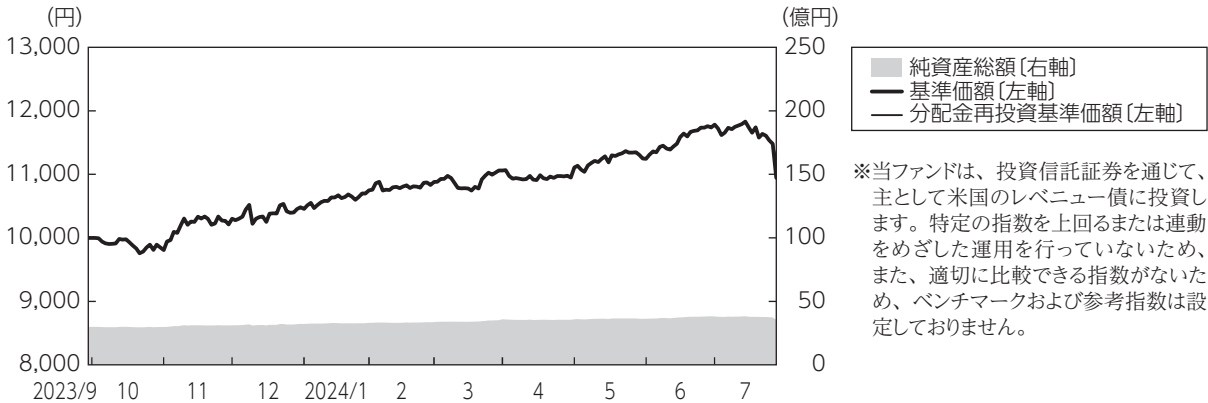
年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	投 証 組 入 比	資 信 託 券 率
		騰 落	率				
(設定日)	円		%		%		%
2023年9月29日	10,000		—		—		—
10月末	9,808	△	1.9		0.2		98.9
11月末	10,302		3.0		0.2		98.9
12月末	10,455		4.6		0.2		97.3
2024年1月末	10,747		7.5		0.2		99.1
2月末	10,879		8.8		0.2		98.5
3月末	11,061		10.6		0.2		96.9
4月末	11,108		11.1		0.2		98.9
5月末	11,243		12.4		0.2		99.0
6月末	11,782		17.8		0.2		98.6
(期 末)							
2024年7月25日	11,244		12.4		0.2		97.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移



設定日(2023年9月29日):10,000円

第1期末(2024年7月25日):10,944円(既払分配金300円)

騰落率:12.4%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」(以下「投資信託証券」ということがあります。)および明治安田マネープール・マザーファンドに投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

組み入れている投資信託証券の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことにより、当ファンドの基準価額も上昇しました。

■ 投資環境

外国債券

当期の米国レベニュー債市場は、利回りが低下（債券価格は上昇）しました。FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待の高まりから、米国長期金利は、設定時の4.6%から2023年末には3.9%まで低下しました。2024年に入ると、米経済指標が予想を上回る伸びを見せたことなどから、利下げ観測は後退し、4月下旬にかけて上昇しました。その後、雇用統計、消費者物価指数など米経済指標が予想を下回る伸びとなり、年内利下げの見方が強まったことで再び低下に転じました。こうした米国長期金利の動きを反映し、米国レベニュー債の利回りも低下しました。

外国為替

当期の米ドルは円に対して上昇しました。設定時から2023年末にかけては、米国の利下げ期待の高まりから米ドルは円に対して下落しました。しかし2024年に入ると、米国の利下げ観測の後退に加え、日銀の金融政策がハト派的と受け止められたことなどから米ドルは上昇し、為替は一時1ドル161円台をつけました。期末には米国の消費者物価指数の伸びが予想を下回ったことや、日銀による追加利上げへの圧力が高まったことなどから円が153円台まで急伸しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

明治安田米国レベニュー債オープン（為替ヘッジなし）

運用方針に基づき、投資信託証券への投資比率を高位に保ちました。また、明治安田マネープール・マザーファンドを組み入れた運用を行いました。

投資信託証券

以下の内容は、ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社より提供された情報等を基に明治安田アセットマネジメントが作成しています。

当期は、米国の投資適格のレベニュー債の中から、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待される銘柄の組み入れを行いました。

主に病院、輸送、教育セクターでの保有銘柄の値上がりやインカム収入、米ドルが円に対して上昇したことがプラスに寄与し、投資信託証券の基準価額は上昇しました。

明治安田マネープール・マザーファンド

運用方針に基づき、安定した収益の確保を目指して残存期間が比較的短い政府保証債を組み入れた運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、投資信託証券を通じて、主として米国のレベニュー債に投資します。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 分配金

- ・ 収益分配については、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり300円(税込み)の分配を実施しました。
- ・ 収益分配にあらず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第1期
	2023年9月29日～2024年7月25日
当期分配金	300
(対基準価額比率)	2.668
当期の収益	300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	943

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

明治安田米国レベニュー債オープン(為替ヘッジなし)

引き続き、投資信託証券への投資比率を高位に維持する方針です。また、明治安田マネープール・マザーファンドを組み入れた運用を行います。

投資信託証券

引き続き、主として米国のレベニュー債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

これまで通り、レベニュー債の利回りは魅力的な水準にあります。また発行体の信用力も健全なため、レベニュー債への投資機会が到来しているとみています。米国経済は利上げの影響により徐々に減速することを想定しています。しかし、保有銘柄は生活の基盤となる事業が裏付けとなっているため、景気の減速局面でも安定した収益を確保できる見込みです。さらに、FRBが利下げに転じた場合には、安定したインカム収入に加えて、債券価格の値上がりも期待でき、投資家に魅力的なリターンをもたらすことが期待されます。今後も個別銘柄の徹底した調査により、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待できるレベニュー債の発掘に努める方針です。

明治安田マネープール・マザーファンド

引き続き、運用方針に基づき、安定した収益の確保を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 9 月 29 日～2024年 7 月 25 日)

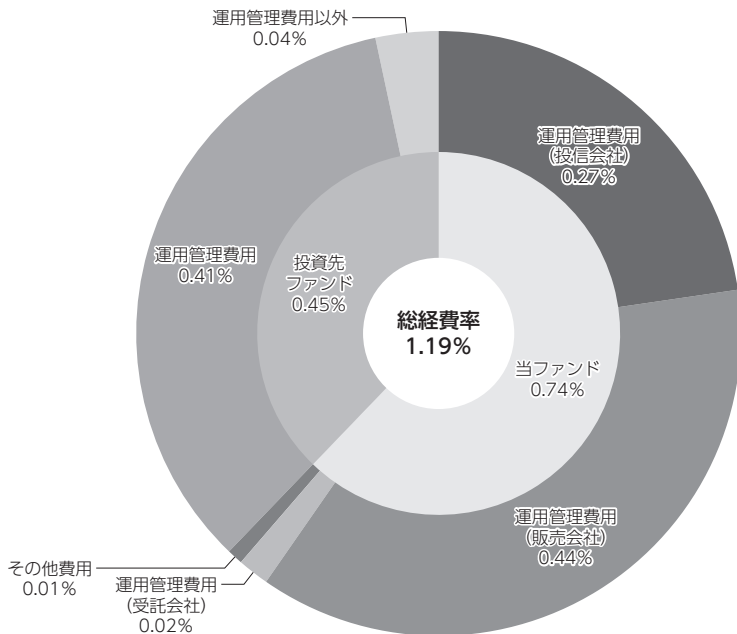
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 65	% 0.606	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率
(投 信 会 社)	(24)	(0.226)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.362)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.018)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	65	0.611	
期中の平均基準価額は、10,738円です。			

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。
- (注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.19%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.19
①当ファンドの費用の比率	0.74
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.41
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月29日～2024年7月25日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	3,436,270,336	3,460,000	17,993,702	20,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	明治安田マネープール・マザーファンド	10,008	10,000	—	—

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月29日～2024年7月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年7月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		当期末		
		口数	評価額	比率
	アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	3,418,276,634	3,476,729	97.8
合計		3,418,276,634	3,476,729	97.8

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
明治安田マネープール・マザーファンド		千口 10,008	千円 9,998

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年7月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 3,476,729	% 94.7
明治安田マネープール・マザーファンド	9,998	0.3
コール・ローン等、その他	186,345	5.0
投資信託財産総額	3,673,072	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,673,072,642
コール・ローン等	186,344,222
投資信託受益証券(評価額)	3,476,729,164
明治安田マネープール・マザーファンド(評価額)	9,998,999
未収利息	257
(B) 負債	118,108,752
未払収益分配金	97,453,023
未払信託報酬	20,502,824
その他未払費用	152,905
(C) 純資産総額(A-B)	3,554,963,890
元本	3,248,434,121
次期繰越損益金	306,529,769
(D) 受益権総口数	3,248,434,121口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,944円

(注1) 当ファンドの設定元本額は2,988,670,744円、期中追加設定元本額は403,451,642円、期中一部解約元本額は143,688,265円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1.0944円です。

○損益の状況 (2023年9月29日～2024年7月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	365,315,488
受取配当金	365,322,859
受取利息	14,208
支払利息	△ 21,579
(B) 有価証券売買損益	25,515,098
売買益	36,705,507
売買損	△ 11,190,409
(C) 信託報酬等	△ 20,655,887
(D) 当期損益金(A+B+C)	370,174,699
(E) 追加信託差損益金	33,808,093
(配当等相当額)	(9,230,483)
(売買損益相当額)	(24,577,610)
(F) 計(D+E)	403,982,792
(G) 収益分配金	△ 97,453,023
次期繰越損益金(F+G)	306,529,769
追加信託差損益金	33,808,093
(配当等相当額)	(9,230,621)
(売買損益相当額)	(24,577,472)
分配準備積立金	272,721,676

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(346,036,150円)、費用控除後の有価証券等損益額(24,138,549円)、および信託約款に規定する収益調整金(33,808,093円)より分配対象収益は403,982,792円(10,000口当たり1,243円)であり、うち97,453,023円(10,000口当たり300円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	300円
----------------	------

※分配金をお支払いする場合

分配金は決算日から起算して、5営業日までにお支払いを開始しております。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限
運用方針	アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長をめざして運用を行います。 実質組入外資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド
マザーファンドの運用方法	主として、米国の州・地方政府や公共機関が公共施設の管理や運営等を目的に発行する債券（以下、「レベニュー債」ということがあります。） 1. 主として米国のレベニュー債に投資し、安定したインカムの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 2. 原則として、取得時においてS&P、ムーディーズ、フィッチ・レーティングスのうち1以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3）以上の格付が付与された債券を主要な投資対象とします。 3. 投資にあたっては、ファンダメンタルズ分析、発行体の財務分析、バリュエーション分析等を行い、信用リスク、流動性および分散投資に配慮しながら、ポートフォリオを構築します。 4. 組入債券（レベニュー債含む）の組入比率は、原則として高位を維持します。 5. 組入外資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. 運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・アドバイザーズに運用の指図にかかる権限を委託します。
組入制限	1. アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券への投資割合には制限を設けません。 2. 債券等への直接投資は、原則として行いません。 3. マザーファンドを通じて行う一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしがたい当該比率以内となるよう調整を行います。 4. マザーファンドを通じて行う投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 5. デリバティブ取引（法人税法第61条の5に定めるものをいいます。）および外国為替予約取引は、投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。
アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド	1. 債券等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしがたい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 4. デリバティブ取引（法人税法第61条の5に定めるものをいいます。）および外国為替予約取引は、投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。
分配方針	収益分配金額は、分配対象額の範囲（経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。））および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。）等の全額）内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。 尚、留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

アンカー・マッコーリー 米国エッセンシャル 債券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2024年1月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、去る2024年1月10日に第1期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.northerntrust.jp/

《アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）》

設定以来の運用実績

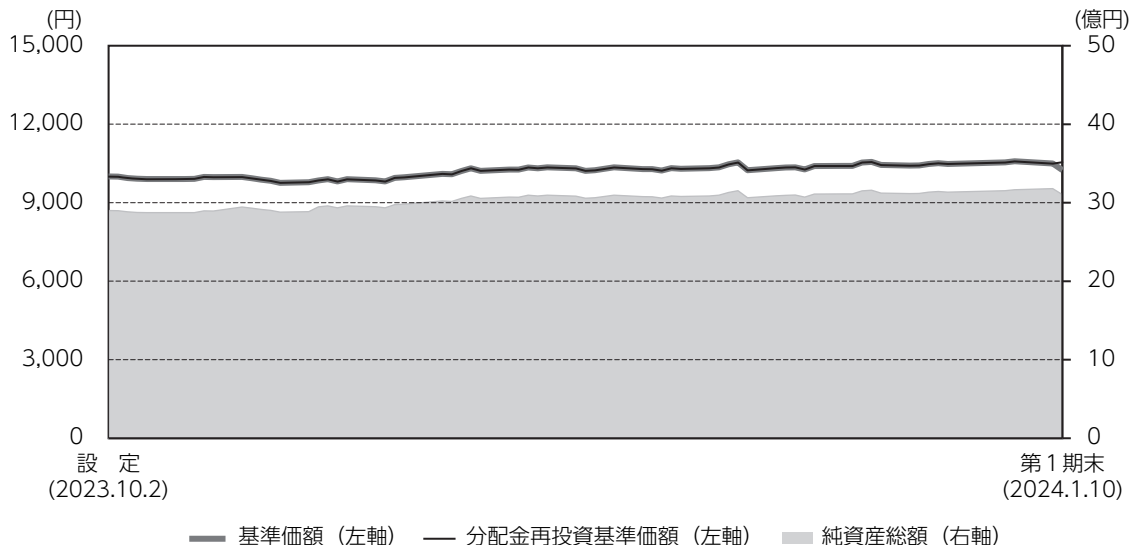
決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組入比率	純資産 総 額
	税 込 分配金	期 中 騰落率	期 中 騰落率			
(設 定 日) (2023年10月2日)	円 10,000	円 -	% -	10,000	% -	百万円 2,900
1期 (2024年1月10日)	10,247	300	5.5	10,393	3.9	98.5 3,103

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 参考指数としてブルームバーグ米国課税地方債インデックス（トータル・リターン、円換算、2023年10月2日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

■基準価額・騰落率

第1期首：10,000円

第1期末：10,247円（既払分配金300円）

騰落率：5.5%（分配金再投資ベース）

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカー・マッコリー米国エッセンシャル債券マザーファンド	5.6%

■基準価額の主な変動要因

為替がマイナスに寄与したものの債券がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。債券では、主に病院、輸送セクターでの保有銘柄の値上がりやインカム収入がプラス寄与しました。為替では、円は米ドルに対して円高となり、マイナス寄与しました。

アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド

決算期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組入比率
			騰 落 率		騰 落 率	
第 1 期	(設 定 日) 2023年10月 2 日	円 10,000	% -	10,000	% -	% -
	10月末	9,810	△ 1.9	9,717	△ 2.8	97.0
	11月末	10,316	3.2	10,178	1.8	98.5
	12月末	10,478	4.8	10,324	3.2	99.0
	(期 末) 2024年 1 月10日	10,547	5.5	10,393	3.9	98.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比。

(注2) 参考指数としてブルームバーグ米国課税地方債インデックス（トータル・リターン、円換算、2023年10月2日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

投資環境について

○米国レベニュー債市況

当期の米国レベニュー債市場は、利回りが低下（債券価格は上昇）しました。期初から10月末にかけては、米経済指標が予想を上回る伸びを見せたことなどから、米連邦準備制度理事会（FRB）が高金利を長期化させるとの見方が広がり、米10年国債利回りは一時5.0%に迫る水準まで上昇しました。しかしその後、米連邦公開市場委員会（FOMC）で金利が据え置かれたことや、雇用統計、消費者物価指数など米経済指標が予想を下回る伸びとなったことなどから、FRBが2024年にも利下げに踏み切るとの観測が強まったことで、期末にかけて米10年国債利回りは4.0%まで低下しました。こうした米長期金利の動きや、レベニュー債発行体が備える健全な信用力が評価され、米国レベニュー債の利回りも低下（債券価格は上昇）しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円高米ドル安となりました。期初、米国のインフレ率が予想を上回る伸びを見せたことなどから日米金利差の拡大が意識され、1米ドル150円台まで円安が進展しました。しかしその後、米経済指標が軟調となる中、FRBの利上げ局面が終了したとの見方が広がるとともに、日銀が金融政策を修正するといった観測も強まり、期末にかけて円高米ドル安が進展しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。

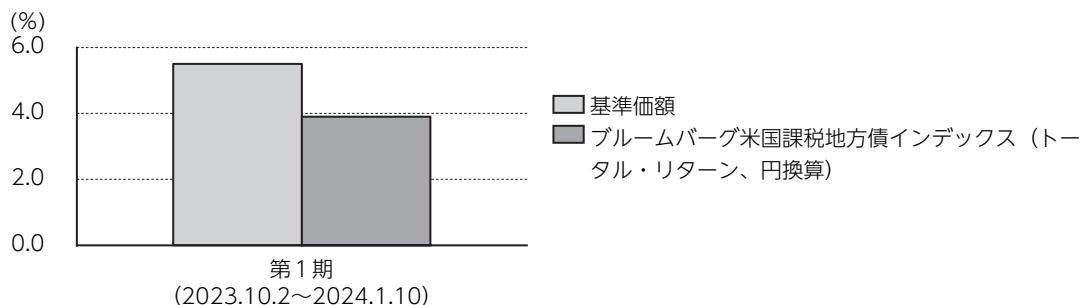
○アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド

当ファンドは、米国の投資適格レベニュー債の中から、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待される銘柄の組み入れを行いました。以上の運用の結果、保有する債券の価格上昇やインカム収入がプラス寄与し、基準価額（税引前分配金再投資）は上昇しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は米国課税地方債市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込）」欄をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第 1 期	
	2023年10月2日 ～2024年1月10日	
当期分配金（税込）（円）		300
対基準価額比率（％）		2,844
当期の収益（円）		300
当期の収益以外（円）		－
翌期繰越分配対象額（円）		247

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

○アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド

これまでの米長期金利の上昇を背景に、レベニュー債の利回りは魅力的な水準にあります。また発行体の信用力も健全なため、レベニュー債への投資機会が到来しているとみています。米国経済は利上げの影響により2024年半ばにかけて減速することを想定しています。しかし、保有銘柄は生活の基盤となる事業が裏付けとなっているため、景気の減速局面でも安定した収益を確保できる見込みです。さらに、FRB（米連邦準備制度理事会）が利下げに転じた場合には、安定したインカム収入に加えて、債券価格の値上がりも期待でき、投資家に魅力的なリターンをもたらすことを期待しています。今後も個別銘柄の徹底した調査により、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待できるレベニュー債の発掘に努める方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第1期		項 目 の 概 要
	(2023.10.2~2024.1.10)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	13円	0.126%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,201円です。
(投信会社)	(13)	(0.122)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.000)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(0)	(0.004)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	1	0.012	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.011)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	
合 計	14	0.138	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

(2023年10月2日から2024年1月10日まで)

投資信託受益証券

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド	3,028,741	3,030,000	-	-

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

(2024年1月10日現在)

	当 作 成 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千口	千円
アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド	3,028,741	3,198,653

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2024年1月10日現在)

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド	3,198,653	100.0
コール・ローン等、その他	-	-
投資信託財産総額	3,198,653	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=144.69円です。

(注3) アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(3,103,679千円)の投資信託財産総額(3,198,983千円)に対する比率は97.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年1月10日現在)

項 目	第 1 期 末
(A) 資産	3,198,653,697円
アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド(評価額)	3,198,653,697
(B) 負債	94,991,539
未払収益分配金	90,864,592
未払信託報酬	3,797,347
その他未払費用	329,600
(C) 純資産総額(A - B)	3,103,662,158
元本	3,028,819,752
次期繰越損益金	74,842,406
(D) 受益権総口数	3,028,819,752口
1万口当り基準価額(C / D)	10,247円

* 設定日における元本額2,900,000,000円、当期中における追加設定元本額128,819,752円、同解約額0円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.0247円です。

■損益の状況

当期(自2023年10月2日 至2024年1月10日)

項 目	第 1 期
(A) 有価証券売買損益	168,653,697円
売買益	168,653,697
(B) 信託報酬等	△ 4,126,947
(C) 当期損益金(A + B)	164,526,750
(D) 追加信託差損益金	1,180,248
(売買損益相当額)	(1,180,248)
(E) 合計(C + D)	165,706,998
(F) 収益分配金	△ 90,864,592
次期繰越損益金(E + F)	74,842,406
追加信託差損益金	1,180,248
(配当等相当額)	(233,824)
(売買損益相当額)	(946,424)
分配準備積立金	73,662,158

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程
計算期間末に、費用控除後の配当等収益額32,960,073円(1万口当り108.83円)、費用控除後の有価証券売買等損益131,566,677円(1万口当り434.38円)、収益調整金額1,180,248円(1万口当り3.89円)から分配対象収益額は165,706,998円(1万口当り547円)となり、うち90,864,592円(1万口当り300円)を分配金額としております。

<補足情報>

当ファンド（アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用））が投資対象としている「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド」の決算日（2024年7月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2024年1月10日）現在におけるアンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンドの組入資産の内容を掲載いたしました。

■組入資産明細表

下記は、2024年1月10日現在におけるアンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド（3,028,741千口）の内容です。

（2024年1月10日現在）

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	当 期				未			
	額面金額	評 価 額		組 入 比 率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 23,540	千米ドル 21,138	千円 3,058,479	% 95.6	% -	% 83.3	% 4.5	% 7.8
合 計	-	-	3,058,479	95.6	-	83.3	4.5	7.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) -印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

銘 柄 名	種 類	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
SACRAMENTO CNTY CA-B	地方債証券	0.872	225	217	31,425	2024/12/01
MA SCH BLDG AUTH-B		0.885	220	206	29,910	2025/08/15
FOOTHILL ESTRN TRANSP		1.160	250	232	33,594	2026/01/15
PENNSYLVANIA ST ECON		1.164	285	270	39,083	2025/06/15
MA CLEAN ENERGY -REF		1.368	230	218	31,628	2025/07/01
SAN DIEGO WTR AUTH-A		1.531	180	150	21,832	2030/05/01
ILLINOIS ST HSG DEV A		1.850	220	183	26,606	2032/10/01
PENNSYLVANIA ST ECON		1.966	250	224	32,424	2028/06/15
BAY AREA CA TOLL AUTH		2.019	225	194	28,133	2030/04/01
LOS ANGELES DEPT ARPT		2.063	185	140	20,338	2034/05/15
DALLAS TX WTRWKS AND SWR		2.230	350	277	40,100	2034/10/01
BROWARD CNTY FL ARPT		2.254	250	239	34,599	2025/10/01
NEW YORK CITY NY INDL		2.336	300	226	32,732	2035/01/01
ALLEGHENY CO HGR EDU		2.425	300	268	38,802	2029/03/01
ANAHEIM HSG AND PUB-B		2.453	325	275	39,798	2031/10/01
PORT OF MORROW-TXBL		2.533	265	181	26,318	2043/09/01
UNIV OF CALIFORNIA-BF		2.650	335	223	32,267	2050/05/15
COLORADO ST BRD-D-1		2.742	300	231	33,431	2038/03/01

銘柄名	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
AUSTIN TX ELEC UTIL-A	地方債証券	2.837	300	285	41,286	2027/11/15
DALLAS-FORT WORTH-A		2.994	300	248	35,892	2038/11/01
NEW YORK CITY INDL		3.000	325	246	35,603	2049/03/01
TEXAS A AND M UNIV BRD -B		3.001	200	172	24,941	2034/05/15
MD HLTH AND HGR EDUC TNL-D		3.052	350	266	38,503	2040/07/01
PA ECON DEV AUTH-UPMC		3.125	190	184	26,650	2036/03/15
ARIZONA BRD OF RGTS-B		3.162	300	210	30,414	2053/07/01
CHARLOTTE-MECKLENBURG		3.204	420	309	44,791	2051/01/15
MIAMI DADE CO -B-REF		3.270	295	229	33,238	2041/10/01
NEW JERSEY ST ECON DE		3.282	310	302	43,765	2025/06/15
LOUISVILLE/JEFFERSON		3.317	25	24	3,530	2025/05/15
MET WASHINGTON DC ARP		3.562	250	202	29,259	2041/10/01
UNIV OF CALIFORNIA CA		3.706	505	343	49,766	2120/05/15
PA TURNPIKE COMM		3.779	300	251	36,388	2042/12/01
NEW YORK ST ENVRNMNTL		3.916	310	281	40,697	2036/06/15
TX A AND M UNIV-B-TXBL		3.993	300	277	40,216	2037/05/15
DALLAS-FORT WORTH-A		4.087	160	136	19,792	2051/11/01
FOOTHILL ESTRN TRANSP		4.094	300	246	35,694	2049/01/15
HI ARPTS SYS CUST FAC		4.144	250	213	30,913	2047/07/01
VA SCH AUTH-QSCB		4.250	220	213	30,850	2030/12/15
CHICAGO OHARE ARPT-C		4.472	195	182	26,401	2049/01/01
LA LOCAL GOVT ENVRN-A		4.475	250	238	34,528	2039/08/01
UNIV OF CALIFORNIA-AN		4.765	350	343	49,655	2044/05/15
PORT AUTH OF NEW YORK		4.823	300	274	39,729	2045/06/01
NEW YORK ST DORM AUTH		4.850	250	236	34,158	2048/07/01
PORT AUTH NY/NJ #168		4.926	300	296	42,944	2051/10/01
IA FIN AUTH-REV-REF		5.000	300	314	45,466	2050/12/01
MET TRANSPRTN AUTH-C2		5.175	275	264	38,252	2049/11/15
NYC MUN WTR FIN -BABS		5.440	230	240	34,863	2043/06/15
MO HWYS AND TRANS -BABS		5.445	250	256	37,171	2033/05/01
AMER MUN PWR		5.803	250	256	37,069	2028/02/15
SAN ANTONIO ELEC		5.808	250	265	38,459	2041/02/01
AMERN MUN PWR-BABS		5.939	265	279	40,397	2047/02/15
SAN DIEGO WTR-B		6.138	250	277	40,176	2049/05/01
COMMONWEALTH PA-BABS		6.218	200	213	30,870	2039/06/01
ALLEGHENY CO ARPT-C		6.220	300	316	45,769	2053/01/01
CO HSG AND FIN AUTH-P-1		6.271	280	296	42,879	2033/11/01
VA HSG DEV AUTH-B-TXB		6.404	250	259	37,521	2043/11/01
NJ TRN TR FD BABS		6.561	250	278	40,286	2040/12/15
LA DEPT WTR AND PWR-BAB		6.574	265	312	45,176	2045/07/01
MEAG TXB-PLT VOGTLE		6.637	300	338	49,046	2057/04/01
MET TRANS AUTH		6.668	250	277	40,104	2039/11/15
CHICAGO WTR-TXB-2ND-B		6.742	200	226	32,824	2040/11/01
WESTERN MUN PWR-BABS		6.770	250	296	42,894	2046/01/01
MO JT MUN ELEC-BABS		6.890	250	280	40,640	2042/01/01
BAY AREA TOLL-S1		6.918	250	290	41,970	2040/04/01

アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド

銘柄名	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
NJ TPK-TXB-A-BABS	地方債証券	7.102	250	301	43,590	2041/01/01
NJ TPK-F-TXB		7.414	200	247	35,813	2040/01/01
PROV ST JOSEPH HLTH OBL	普通社債券	2.532	300	261	37,819	2029/10/01
TRINITY HEALTH CORP		2.632	300	212	30,774	2040/12/01
SHARP HEALTHCARE		2.680	400	259	37,478	2050/08/01
COMMONSPIRIT HEALTH		2.760	260	254	36,790	2024/10/01
RAYBURN CTRY SEC LLC		3.025	300	241	35,007	2041/12/01
COMMUNITY HEALTH NETWORK		3.099	400	262	37,915	2050/05/01
SUTTER HEALTH		3.161	250	193	27,994	2040/08/15
ORLANDO HEALTH OBL GRP		3.327	240	172	24,895	2050/10/01
MOUNT NITTANY MED CTR		3.799	250	194	28,087	2052/11/15
THOMAS JEFFERSON UNIV		3.847	400	298	43,206	2057/11/01
ALLINA HEALTH SYSTEM		3.887	350	289	41,863	2049/04/15
COMMONSPIRIT HEALTH		3.910	300	232	33,603	2050/10/01
DUKE UNIVERSITY HEALTH		3.920	275	228	33,132	2047/06/01
RWJ BARNABAS HEALTH		3.949	250	203	29,420	2046/07/01
UNIVERSITY OF MIAMI		4.063	300	252	36,591	2052/04/01
KAISER FOUNDATION HOSPIT		4.150	300	261	37,779	2047/05/01
COMMONSPIRIT HEALTH		4.187	300	248	35,966	2049/10/01
NYU LANGONE HOSPITALS		4.368	300	262	38,013	2047/07/01
ALLINA HEALTH SYSTEM		4.805	300	278	40,352	2045/11/15
SUTTER HEALTH		5.547	250	261	37,895	2053/08/15
小計	—	—	—	—	3,058,479	—
合計	—	—	—	—	3,058,479	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

明治安田マネープール・マザーファンド

運用報告書

第12期

(決算日 2023年10月16日)

「明治安田マネープール・マザーファンド」は、2023年10月16日に第12期決算を行いました。
以下、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

◎最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 円	価 額		債 券 組 入 比 率 %	純 資 産 総 額 百万円
		期 中 騰 落 率 %			
(第8期) 2019年10月15日	10,016	△0.0		74.6	1,707
(第9期) 2020年10月15日	10,009	△0.1		71.9	2,306
(第10期) 2021年10月15日	10,002	△0.1		84.8	2,279
(第11期) 2022年10月17日	9,994	△0.1		73.4	8,273
(第12期) 2023年10月16日	9,992	△0.0		95.2	5,011

(注)当ファンドは、国内短期金融資産への投資を通じて安定的な収益の確保を目指して運用を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 円	価 額		債 券 組 入 比 率 %
		騰 落 率 %		
(期 首) 2022年10月17日	9,994	—		73.4
10月末	9,993	△0.0		73.4
11月末	9,993	△0.0		91.5
12月末	9,988	△0.1		76.0
2023年 1月末	9,990	△0.0		68.6
2月末	9,991	△0.0		74.4
3月末	9,992	△0.0		58.5
4月末	9,992	△0.0		57.3
5月末	9,992	△0.0		66.1
6月末	9,992	△0.0		62.3
7月末	9,991	△0.0		85.6
8月末	9,992	△0.0		72.1
9月末	9,992	△0.0		78.8
(期 末) 2023年10月16日	9,992	△0.0		95.2

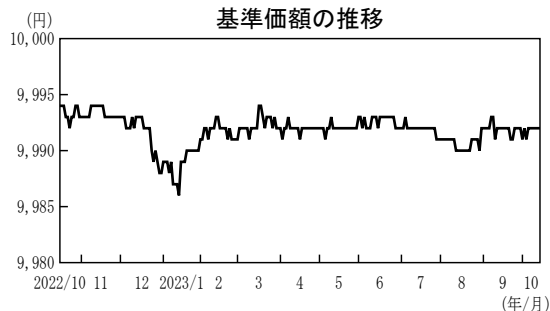
(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドは、国内短期金融資産への投資を通じて安定的な収益の確保を目指して運用を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2022年10月18日～2023年10月16日)

1 基準価額

基準価額の推移と主な変動要因



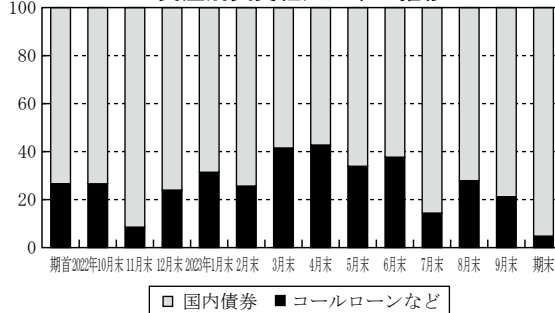
基準価額は期首9,994円で始まり、期末9,992円で終わりました。騰落率は△0.02%でした。この主な要因としては、組み入れていた政府保証債の金利相当分の収益が基準価額に対してプラスに寄与した一方、短期金利がマイナス圏で推移し時価が下落したことがマイナスに影響しました。

2 運用経過

運用概況

当マザーファンドは、国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融商品を主要投資対象としています。海外の主要中央銀行による金融引き締め政策の長期化が視野に入るとともに、国内においても日本銀行の政策修正に対する投資家の注目度は高まりました。日本銀行はイールドカーブ・コントロールを巡って、2022年12月には長期金利の許容変動幅を拡大し、総裁交代後の2023年7月には長期金利の変動幅に対する運用柔軟化を決定しましたが、マイナス金利政策については継続しました。こうした環境下で短期金利がマイナスで推移する中、当マザーファンドでは運用の基本方針に従い、政府保証債を組み入れた運用を行いました。

(%) 資産別実質組入比率の推移



※純資産総額に対する割合

3 今後の運用方針

引き続き、運用の基本方針に従い運用を行います。

◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022年10月18日～2023年10月16日		
	金額	比率	
(a) その他費用	2円	0.020%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は9,991円です。
(その他)	(2)	(0.020)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	2	0.020	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2022年10月18日～2023年10月16日)

○公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	特殊債券	7,781,174	2,696,353 (6,335,000)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等(2022年10月18日～2023年10月16日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○国内(邦貨建)公社債(種類別)

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千 円	千 円	%	%	%	%	%
特殊債券(除く金融債)	4,757,000	4,771,768	95.2	—	—	—	95.2
合 計	4,757,000	4,771,768	95.2	—	—	—	95.2

(注1)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2)単位未満は切り捨て。

(注3)－印は組み入れなし。

(注4)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

銘 柄 名	当		期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日		
	%	千 円	千 円			
(特殊債券(除く金融債))						
政府保証第28回日本政策投資銀行社債	0.45	100,000	100,547	2025/ 3/13		
政府保証第52回日本政策投資銀行社債	0.001	200,000	199,886	2025/ 1/24		
政府保証第202回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.699	115,000	115,033	2023/10/31		
政府保証第207回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.693	192,000	192,264	2023/12/28		
政府保証第213回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.645	200,000	200,568	2024/ 3/29		
政府保証第218回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.66	234,000	234,964	2024/ 5/31		
政府保証第220回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.644	100,000	100,444	2024/ 6/28		
政府保証第222回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.601	361,000	362,689	2024/ 7/31		
政府保証第225回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.556	500,000	502,365	2024/ 8/30		
政府保証第229回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.539	117,000	117,625	2024/10/31		
政府保証第236回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.32	110,000	110,382	2025/ 1/31		
政府保証第54回地方公共団体金融機構債券	0.669	105,000	105,060	2023/11/17		
政府保証第55回地方公共団体金融機構債券	0.693	100,000	100,119	2023/12/18		
政府保証第56回地方公共団体金融機構債券	0.747	100,000	100,194	2024/ 1/19		
政府保証第57回地方公共団体金融機構債券	0.66	239,000	239,525	2024/ 2/16		
政府保証第58回地方公共団体金融機構債券	0.645	100,000	100,265	2024/ 3/15		
政府保証第60回地方公共団体金融機構債券	0.66	241,000	241,944	2024/ 5/21		
政府保証第64回地方公共団体金融機構債券	0.544	600,000	602,868	2024/ 9/13		
政府保証第65回地方公共団体金融機構債券	0.539	100,000	100,519	2024/10/16		
政府保証第66回地方公共団体金融機構債券	0.495	113,000	113,578	2024/11/18		
政府保証第67回地方公共団体金融機構債券	0.466	100,000	100,505	2024/12/13		
政府保証第31回日本政策金融公庫債券	0.544	100,000	100,478	2024/ 9/13		
政府保証第56回日本政策金融公庫債券	0.001	130,000	129,905	2025/ 2/21		
政府保証第16回民間都市開発債券	0.699	500,000	500,035	2023/10/20		
合 計		4,757,000	4,771,768			

(注)額面・評価額の単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

2023年10月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	4,771,768	95.2
コール・ローン等、その他	239,757	4.8
投資信託財産総額	5,011,525	100.0

(注)評価額の単位未満は切り捨て。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年10月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	5,011,525,782円
コール・ローン等	235,897,220
公 社 債(評価額)	4,771,768,700
未 収 利 息	3,859,862
(B) 負 債	1,489
未 払 利 息	694
そ の 他 未 払 費 用	795
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	5,011,524,293
元 本	5,015,411,715
次 期 繰 越 損 益 金	△ 3,887,422
(D) 受 益 権 総 口 数	5,015,411,715口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,992円

◎損益の状況

自 2022年10月18日
至 2023年10月16日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	49,237,024円
受 取 利 息	50,014,661
支 払 利 息	△ 777,637
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△48,649,060
売 買 益	70,200
売 買 損	△48,719,260
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,249,997
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 1,662,033
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 4,762,467
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△11,850,436
(G) 解 約 差 損 益 金	14,387,514
(H) 計 (D+E+F+G)	△ 3,887,422
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 3,887,422

(注1)当親ファンドの期首元本額は8,278,638,535円、期中追加設定元本額は14,615,400,436円、期中一部解約元本額は17,878,627,256円です。

(注2)当親ファンドの当期末元本の内訳は、明治安田ダウンサイドリスク抑制型グローバル・バランスPファンド(適格機関投資家私募)2,649,626,414円、明治安田高配当サステナブルESG日本株時間分散型ファンド2023-6(適格機関投資家私募)950,610,329円、明治安田米国リート・インカム・プレミアム・ファンド(毎月決算型)19,884,266円、明治安田NBグローバル好利回り社債ファンド2023-02(限定追加型)10,009,009円、明治安田NB世界好利回り事業債ファンド2023-07(限定追加型)10,009,009円、明治安田米国レベニュー債オープン(為替ヘッジなし)10,008,007円、明治安田NBコーポレート・ハイブリッド証券ファンド2022-12(限定追加型)10,007,005円、明治安田NBグローバル好利回り社債ファンド2023-06(限定追加型)10,007,005円、明治安田Nextグローバル・リート(予想分配金提示型)5,000,000円、明治安田Nextグローバル・リート(資産成長型)5,000,000円、東洋ベトナム株式ファンド2021 4,998,501円、東洋ベトナム株式オープン500,201円、中国A株再生可能エネルギー関連プレミアムα5,000円です。

(注3)1口当たり純資産額は0.9992円です。

(注4)純資産総額が元本額を下回っており、その額は3,887,422円です。

(注5)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注6)損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注7)損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注8)損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

・デリバティブ取引について、投資態度を明確にするため、信託約款に所定の整備を行いました。(2023年7月15日)